市議会だより
おおだ

No.85

2026（令和8）年10月22日発行



表紙の写真
「歩み」
邇摩高等学校　3年
藤原 美優（ふじわら　みゆ）さん
（関連記事は裏表紙に）

令和7年度決算審査全会計認定　4
一般質問14人 …… 7
委員会・特別委員会報告 …… 14
議会日誌 …… 16

9月定例市議会は、2026（令和8）年8月31日（月）～9月25日（金）までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

可決

賛成多数

（一般会計総額　282億1,981万円）



将棋タイトル戦招致事業　520万円

石見銀山世界遺産登録20周年・発見500年（令和9年）を記念した将棋タイトル戦の招致実行委員会を設立し、開催準備に必要な経費



久利町の被害

道路維持事業　1,000万円

風雨の影響により路肩が崩壊したため、通行の安全を図るために道路整備を行う

人事案件

【同意】

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めること（任期4年）

現委員である岩谷律子（いわたにりつこ）氏の任期が、令和8年11月28日をもって満了するため、再任することについて、同意を求めたものです。

【同意】

▼固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること（任期3年）

現委員の任期が、令和8年11月29日をもって満了するため、楫伸（かじしん）氏及び水田雄二（みずたゆうじ）氏を再任し、川村直孝（かわむらなおたか）氏を新たに任命することについて、同意を求めたものです。

【異議なく同意】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること（任期3年）

現委員の任期が、令和8年12月31日をもって満了するため、福富雅英（ふくとみまさひで）氏及び森本学（もりもとまなぶ）氏を再任し、浅原豊（あさはらゆたか）氏を新たに任命することについて意見を求めたものです。

9月定例市議会

令和8年度
一般会計
補正予算

補正額 1億7,949万円

主な補正内容



妊娠・出産安心サポート事業 170万円

大田市立病院の分娩休止に伴い、市外で出産する方の交通費・宿泊費を助成



教育ICT推進事業 1,919万円

小中学校の老朽化した電話設備をクラウドPBX(※)へ更新し、次世代校務支援システムの設計を行う

※クラウドPBXとは、インターネット経由で、内線・外線などの電話機能を利用できるサービス。低コストで、場所を選ばずに使える。

7月臨時市議会

可決 全会一致

7月29日開催

令和8年度 一般会計補正予算5,836万円

主な補正内容



老朽化した北三瓶まちづくりセンターのエアコン

まちづくりセンター空調整備事業 5,850万円

まちづくりセンターの空調設備を更新



燃やせるごみ指定袋（家庭用）配布事業 800万円

物価高騰対策として、市内全世帯に指定ごみ袋（中袋）を配布（令和9年1月から順次発送予定）

審査、全会計を認定しました

認定 賛成多数

一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	256億　680万円	252億9,748万円
特別会計	126億1,879万円	122億8,569万円

●一般・特別会計決算審査特別委員会

◎委員長　○副委員長

◎森山　幸太　　○髙木　裕介
松村　信之　　石田　洋治
和田章一郎　　宮脇　康郎
楫　　龍夫　　河村　隆弘



森山幸太（もりやまこうた） 委員長

概要

令和7年度決算について、2日間にわたる慎重な審査が行われました。

結果として、約6億4千万円の黒字となりました。委員会では、この決算内容について、各分野で活発な質疑応答が行われました。

審査での主な議論をピックアップ！

【子育て・教育の未来へ】

未来を担う子どもたちへの支援について、多くの意見が出されました。

物価高の中、保護者負担を軽減する「保育所の副食費無償化」は、財源を確保しながら継続していく方針が示されました。また、近年増加している不登校の児童生徒に対しては、安心して過ごせる居場所づくりをさらに進め、一人ひとりの状況に応じた柔軟な学びの場を充実させるべきだとの意見が出されました。

【安全で安心な毎日を守る】

市民生活の安全を守るための取り組みも重要な議題となりました。

特に、農作物だけでなく、人への被害も心配される「サル対策」については、県と連携し、発信機など最新のICT機器を活用した捕獲を進めていくとの報告がありました。また、市民の皆さんから要望のあった道路の補修などは940件中824件が完了（完了率87・7％）しており、暮らしやすい環境整備が進められています。

【まちの魅力と活力を高めるために】

大田市の活性化に向けた議論も白熱しました。

「ふるさと寄付金」は物価高で厳しい状況ですが、返礼品の魅力を高めるなど確保に努めていくとのことです。

「世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年」という大きな節目を好機と捉え、三瓶・大森・温泉津の周遊観光を促進し、地域経済の活性化につなげる計画も示されました。

委員会から市へ、未来のための要望

審査の最後に、委員会として市に対し、特に以下の点について今後の市政運営に活かすよう強く要望しました。

・全庁を挙げて「ふるさと寄付金」の確保に取り組むこと。
・職員の労働環境改善と時間外勤務の縮減に努めること。
・不登校の子どもたちのための居場所づくりをさらに充実させること。
・有害鳥獣対策について、県と連携して強力に進めること。
・新庁舎建設を駅周辺の活性化に繋げること。

審査を終えて

以上の審議の結果、令和7年度決算は**賛成多数**で**認定**されました。

この結果を、令和8年度の予算づくりや、これからの大田市のまちづくりに活かせるよう要望し、審査を終えました。

成果を未来へつなぐ！令和7年度決算

公営企業会計決算

●公営企業会計決算審査特別委員会

◎委員長　○副委員長

◎柿田　賢次　○清水　好
小林　太　福田佳代子
胡摩田弘孝　根宜　和之
伊藤　康浩　中村　学

	収益的収入(税抜)	収益的支出(税抜)	資本的収入(税込)	資本的支出(税込)
水道事業会計	10億8,201万円	11億767万円	5億4,897万円	9億5,981万円
下水道事業会計	9億3,448万円	9億5,378万円	15億5,146万円	17億3,055万円
病院事業会計	51億7,311万円	59億8,078万円	4億4,930万円	5億6,895万円



かきだ　けんじ
柿田賢次 委員長

概要

市民の暮らしに直結する水道、下水道、病院の3つの事業について、令和7年度の決算審査が行われました。

審査での主な議論をピックアップ！

【水道事業】

賛成多数で決算が**認定**されました。

しかし、給水戸数・給水量の減少に伴い、約5,361万円の純損失（赤字）となりました。

質疑では、「水道料金がなぜ高いのか市民への説明が必要だ」「県との連携で料金引き下げに動くべき」といった厳しい意見が出されました。

市は、将来の安定経営のため料金改定を行ったことについて、市民に理解を求めつつ、今後は県内の他市町と連携して事業の広域化・経営の一体化について話し合いを進めていると報告しました。

委員からは、「有収率（料金収入につながる水量）を上げるため、計画的な漏水調査を進めるべき」などの経営努力を求める声が強く上がりました。

【下水道事業】

賛成多数で**認定**されました。収入は増えたものの、経費の増加がそれを上回り、約8,837万円の純損失（赤字）となっています。

主な質疑では、汚水処理人口普及率の目標66・8％に対し、実績は60・04％に留まっていることについて、市は、資材や人件費の高騰で整備が遅れており、今後は計画的に整備を進めていくとのことでした。

委員からは、「整備地域の拡大だけでなく、各家庭の接続率を上げる努力も必要だ」「使用料滞納者への対策を強化すべき」といった意見が出されました。

【病院事業】

賛成多数で**認定**されました。医師や研修医を新たに確保した一方、看護師不足による病棟の一部縮小などが影響し、約8億766万円という非常に大きな純損失（赤字）となりました。

この厳しい経営状況の中で、事業の見直しを検討しているのかという質問が出されました。病院は、がん治療や救急医療など、公立病院として赤字でも担わなければならない役割があるとの説明でした。その上で、持続可能な運営のため、院内にプロジェクトチームを設置し、病床規模の見直しを含めた抜本的な再編案を検討しているとのことでした。

委員からは、経営改善の努力を評価しつつも、「病床稼働率を上げる努力を」「看護師が働きやすい人員配置を」「外来の待ち時間を改善してほしい」など、経営と医療サービスの質の両面から改善を求める意見が相次ぎました。

審査を終えて

3事業ともに厳しい決算状況が明らかになりました。委員会は、各事業が市民生活に不可欠なインフラであるからこそ、将来にわたって安定したサービスを提供できるよう、より一層の経営努力と具体的な改善策の実行を強く求め、審査を終えました。

◇ 7月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名＼議員名等	議決結果	賛成：反対等	石田洋治	河村隆弘	髙木裕介	中村学	楫龍夫	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	福田佳代子	松村信之	小林太	塩谷裕志	小川和也
■市長提出議案																				
議案第20号　令和8年度大田市一般会計補正予算（第2号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号　令和8年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号　令和8年度大田市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号　大田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号　大田市立認定こども園建築工事 建築主体工事請負契約の締結について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号　財産の取得について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長（小川和也）は採決に加わりません　　※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）

◇ 9月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名＼議員名等	議決結果	賛成：反対等	石田洋治	河村隆弘	髙木裕介	中村学	楫龍夫	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	福田佳代子	松村信之	小林太	塩谷裕志	小川和也
■市長提出議案																				
議案第26号　令和7年度大田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	認定	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第27号　令和7年度大田市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	可決認定	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第28号　令和7年度大田市下水道事業会計決算認定について	認定	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第29号　令和7年度大田市病院事業会計決算認定について	認定	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第30号　令和8年度大田市一般会計補正予算（第3号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号　令和8年度大田市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号　令和8年度大田市病院事業会計補正予算（第3号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号　大田市立認定こども園条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号　大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号　大田市立学校施設等使用条例等の一部を改正する条例制定について	可決	13：4	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第36号　大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号　大田市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号　大田市廃棄物の処理及び再生利用等の促進に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号　大田市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第40号　大田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号　大田市やきものの里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号　大田市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	可決	13：4	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第43号　大田市景観条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号　大田市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第45号　大田市森林総合利用施設高山キャンプ場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号　第3次大田市総合計画基本構想の策定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号　大田葬斎場長寿命化改修工事（建築主体工事）請負変更契約の締結について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第48号　損害賠償の額の決定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第52号　都市公園整備事業大田総合体育館空調設備外工事（機械設備）請負契約の締結について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第53号　教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第54号　固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第55号　固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第56号　固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第57号　人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第58号　人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号　人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員提出議案																				
議案第49号　特別委員会の設置について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号　特別委員会の設置について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号　特別委員会の設置について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長（小川和也）は採決に加わりません　　※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）

いっぱん質問

一般質問は議員が自由にテーマを設定し、市政に対して提案・追及します。

掲載は1人1議題とし、**冒頭部分のみ**を要約しています。その他の質問項目は項目のみ掲載。9月3日、4日に14人が質疑を行いました。

大田市議会公式YouTubeチャンネル

全編動画はYouTubeで公開中！

大田市公式LINE

情報発信しています



「静流」邇摩高等学校　3年　和田　妃央楽（わだ　きおら）さん

大田市立病院を守り充実を

質問　大田市は母子の安全を優先するとして、来春以降市立病院での分娩を休止する方針であるが、子育て世帯を中心に市民の間で大きな不安が広がっている。里帰り出産等、地元で安心して子どもを産み育てられる環境整備は極めて重要であり、一刻も早い再開に向けての取り組みを伺う。

答弁　医師の体制が整わないための分娩休止の方針により、多大な不安と負担をかけていることを重く受け止めている。全国的に産婦人科、麻酔科、小児科の医師は、志望者数の減少傾向に伴い人員確保が困難な状況が生じている。当院は多くの診療科において島根大学医学部からの医師派遣や勤務支援を受け、医療体制を維持しているが、これまで以上に信頼強化を図りながら進めていく考えである。

答弁　今後も島根大学と連携し、医師育成・確保に取り組む

全編動画はコチラ

福田佳代子（ふくだかよこ）議員





▲昨年の病院まつりの様子（スタッフによるライブ演奏）

福田議員その他の質問項目

・再生可能エネルギー条例の制定
・公営住宅法の目的にそった、市営住宅の在り方

学校の跡地活用の検討は

答弁 地域の活性化や市全体の利益につながる活用について考えていく

全編動画はコチラ

森山（もりやま） 幸太（こうた） 議員



質問 大田市の今後の空き校舎の活用については、市民から高い関心が寄せられている。全国の跡地利用の成功事例を見ると、市民と行政がうまく連携が取れたという事例が多い。今後、市民参加を通じて、行政と連携し進めるべきである。以下、3点について伺う。

①空き校舎の跡地利用の検討プロセスと市民参加の機会

②空き校舎の跡地利用における市民への情報公開

③先進的な事例も踏まえて学校跡地・空き校舎の利活用

答弁 ①学校統合によって生じる空き校舎については、これまで地域の中で果たしてきた役割も踏まえ、地域の意見や具体的な活用のアイデアを持つ方の提案を生かしていくことは重要な視点であると考えている。

②案件ごとの状況に応じて必要な情報を整理し、できる限り分かりやすく市民の皆様に伝えることが必要と考えている。

③他自治体の先進的な事例も参考にしながら、地域の実情や施設の状況を踏まえ、地域の活性化や市全体の利益につながる活用について考えていく必要があると考えている。



▲朝波小学校

森山議員その他の質問項目
地域防災（防災リーダーの育成と避難所訓練）

防災対策の強化は

答弁 計画に基づき、継続的に強化する

全編動画はコチラ

宮脇（みやわき） 康郎（やすろう） 議員



質問 熊本地震では避難所の課題が露呈した。以下、5点について伺う。

①地震や津波などでの被害想定

②避難所の環境改善（プライバシー、飲料水、食事の提供）

③個別避難計画の進捗状況と課題

④避難所となる学校体育館の空調・洋式トイレ整備

⑤水道管の耐震化

答弁 ①大田市西南方断層と島根県西方沖合（F57）断層を想定し、大田市西南方断層では最大震度7、死者11人、負傷者288人、全壊412棟、最大避難者3，972人を想定している。

②食料・飲料水を県、市、市民が各1日分を備蓄する計画であり、家庭備蓄の啓発にも取り組んでいる。パーテーション等でプライバシーを確保し、発災後は国・県に速やかに応援要請する方針である。

③2，535名の要支援者名簿登録者に対し、98名が策定済みで、42名が策定中である。地域や福祉部局と連携し、自主防災組織の拡充、防災アドバイザーの活用、新システム導入などにより業務効率化を図る。

④全24体育館に空調はないが、財政負担を考慮し検討する。洋式トイレは21か所が整備済みで、未設置箇所も計画的に整備を進める。

⑤基幹管路の耐震化率は47.7％と全国平均を上回っており、今後も改善に努める。



▲避難所用プライベートテント設置の様子

宮脇議員その他の質問項目
国民健康保険の県内保険料水準の統一

総合計画にない新庁舎整備 市民が今困る課題を優先しては

答弁 財政状況や緊急性を踏まえ取捨選択

全編動画はコチラ

和田章一郎（わだしょういちろう） 議員



質問 第2次総合計画には新庁舎建設について明記されていない。総合計画は市の最上位計画であり、そこに位置づけのない大規模事業には、幅広い議論や意見を聞くなど、市民の理解を得る努力が必要ではないか。

第3次総合計画案では「明日も笑顔があふれるまち おおだ」を掲げているが、新庁舎の建設によって笑顔があふれる大田市になるとは想像できない。庁舎建設に予算を使うより、深刻化するサル被害など、市民が今まさに困っている課題に集中的に予算を使うべきではないか。

答弁 近年、市民ニーズは多様化し、それに応じた財政需要は増していくことが見込まれる。予算配分は、総合計画や法令上の義務、財政状況、緊急性、費用対効果などを総合的に勘案して行う必要がある。鳥獣害対策は喫緊の課題の一つと認識しており、予算を重点的に配分し、事業を拡充してきた。限られた財源の中で事業の取捨選択は避けられないが、市民の理解が得られるよう取り組んでいく。



▶この度、震度6強の地震を受けた熊本市役所、10年前にも同程度の地震が2度あった。（熊本市役所ホームページより）

健康寿命の延伸に向けた予防医療の推進は

答弁 健診指導や個別訪問、連携で予防を推進する

全編動画はコチラ

石田 洋治（いしだ ようじ） 議員



質問 高齢になっても元気で生き生きと暮らせるよう、予防医療の推進について、以下3点を伺う。

①糖尿病による目や足の合併症対策と重症化予防の普及啓発強化

②80歳以上の高齢者や透析患者への新型コロナワクチン接種支援

③高齢者の骨折・肺炎入院を減らすための医療・介護・地域の連携した取り組み

答弁 ①保健師等の個別訪問や特定保健指導で重症化を防ぐ。健診での足確認必須化は見送るものの、早期発見に向け、関係機関との協議を進める。

②市独自の上乗せ支援は行わないが、80歳以上や透析患者へ丁寧な周知を継続する。

③通いの場での健康教育とハイリスク者への個別支援を関係機関と連携し、継続して取り組む。

石田議員その他の質問項目
気象防災アドバイザーの採用



▲運動習慣定着に向けた健康アプリ「みんチャレ（ラトチャレ）」を導入

水産業の振興と発展、その将来像は

答弁 漁港整備と海業（うみぎょう）で地域経済の活性化を図る

全編動画はコチラ

松村（まつむら） 信之（のぶゆき） 議員



質問 総合計画の素案には、地域産業の振興や交流人口の拡大、地域資源の有効活用といった、大田市の未来を形作る上で不可欠な要素が明確に掲げられている。これらの柱は、大田市の持続的な発展にとって極めて重要である。以下、3点を伺う。

①第3次総合計画で水産業をどう位置づけ、商工業や観光業などと連携し、持続的な発展につなげるのか。

②大あなごのブランド化を、加工・販売・観光などへ広げ、事業化・収益化をどう進めるのか。

③和江漁港整備と国の海業政策をどう結びつけ、地域の所得向上や交流人口拡大につなげるのか。

答弁 ①水産業を地域産業の核と位置づけ、「獲る」から「売る・使う・訪れてもらう」まで一体的に捉え、商品開発やブランド化、商工・観光との連携で漁業者の所得向上を図る。

②大あなごは提供店や取扱量、魚価が大きく伸びており、加工品、ふるさと納税、PR、旅行商品などへ展開し、さらなるブランド力向上と地域経済への波及を進める。

③県と連携して和江漁港整備を進め、販売、飲食、朝市、体験、見学、養殖など海業を具体化する。和江での知見を仁万、温泉津、波根東などへ広げ、市全体の水産業振興につなげる。



▶漁業の様子

分娩休止後の妊婦・家族の負担軽減を

答弁 安心して出産を迎えられるよう負担軽減策を進める

全編動画はコチラ

根宜（ねぎ） 和之（かずゆき） 議員



質問 大田市立病院での分娩休止により、出雲圏域への通院や出産で、移動時間や費用、緊急時の対応、家族への負担が増えることが心配される。独自のアンケートでも、約80％が緊急時の対応を心配し、交通費・宿泊費や上の子どもの一時預かりなどの支援を求める声があった。市はこうした負担をどう受け止め、どのような支援を検討しているのか。

答弁 緊急時に妊婦をスムーズに搬送できるよう、住所や出産予定日、出産予定の医療機関などをあらかじめ登録する「妊婦情報事前登録制度」の準備を、関係機関と進めている。また、交通費や時間、出産前の待機、家族の付添い、上のお子さんの預け先など、さまざまな負担が生じることを重要な課題と受けとめている。国・県の制度を活用し、妊婦健診や出産にかかる交通費・宿泊費の助成、市独自の上乗せ支援を検討し、補正予算を計上した。産後ケアの充実についても検討している。



▶大田市立病院

地域通貨と連携したふるさと納税の強化は

答弁 関係人口の創出や地域経済の活性化につなげる

全編動画はコチラ

伊藤（いとう） 康浩（やすひろ） 議員



質問 近年、デジタル地域通貨を導入する自治体が増加している。

地域通貨をふるさと納税と連携させることで寄附者と地域との継続的なつながり、来訪時の市内消費や再訪につなげていくことも考えられる。以下3点を伺う。

①デジタル地域通貨を導入する意義やメリットなど現状の認識

②システムの導入費や維持管理費等導入に伴う課題

③地域通貨とふるさと納税や観光施設の連携など、ふるさと納税の強化

答弁 ①デジタル地域通貨については、利用できる店舗や地域を限定することによって、市内での消費を促し、市外への資金流出を抑えることで、地域内の経済循環を促進する手段の一つであると認識している。

②デジタル地域通貨を導入する場合には、システムの初期費用に加え、維持管理や運用に係る継続的な経費が必要となることから中長期的な財政負担を含めて考える必要がある。

③デジタル地域通貨との連携については、寄附者の来訪や市内消費を促し、ふるさと納税と地域経済を結びつける手段の一つとなる可能性があると考えている。



有害鳥獣対策の取り組みは

答弁 地域連携と技術で被害削減に取り組む

全編動画はコチラ

髙木（たかき） 裕介（ゆうすけ） 議員



質問 鳥獣被害は農作物への被害に加え、市民の安全や生活にも深刻な影響を及ぼしている。令和7年度の農作物被害状況と捕獲頭数、計画目標との比較を伺う。

また、市の取り組みについて、以下4点を伺う。

①被害地域での地域住民との防除の合意形成

②鳥獣害対策の担い手の育成や負担軽減

③防護柵設置などの負担軽減

④新技術の活用

答弁 令和7年度の農作物被害は、イノシシが5・4haで1,284万円、ニホンザルが1・2haで474万円となり、大きな割合を占めている。捕獲はイノシシ334頭、サル71頭、シカ5頭、ヌートリア35頭で、目標に対して被害面積は半分程度に抑えられたが、被害金額は価格上昇もあり大幅に超過した。取り組みについては、

①聞き取りや勉強会で住民理解を醸成し、集落単位で合意を得て対策を実施。

②免許補助・研修・資機材の支給で、実施隊員の確保と負担軽減を図る。

③防護柵設置費を一部補助し、予防対策と維持支援を促進。

④ニホンザルに発信機を装着し、移動経路や行動範囲を把握。スマートフォンを活用し、情報共有するシステムの試験運用を始めている。

鳥獣による被害の状況

鳥獣の種類	被害面積（ha）		被害額（万円）	
	R6	R7	R6	R7
イノシシ	3.08	5.40	437	1,284
ニホンザル	1.91	1.20	275	474

ツキノワグマの目撃情報件数

R7	43件
R8（7月末まで）	48件

市立病院での分娩休止の理由、背景は

答弁　母子の安全を最優先に判断した

全編動画はコチラ

中村（なかむら）　学（まなぶ）　議員



質問　今年7月、市立病院で令和9年3月以降の分娩休止が発表され、今後出産を迎える妊婦や子育て世代を含め、市民から不安や心配の声が出ている。

出産は母親と赤ちゃんの命に関わり、何より優先されるべきは、母子の安全を確保する医療体制である。以下、2点を伺う。

①休止に至った理由や背景

②周産期ケアの現状と支援内容

答弁　①産婦人科医1名が定年を迎え、麻酔科医の待機及び出産時の緊急体応を含め母子の安全確保を第一にした結果、分娩の当面休止、出雲圏域の連携医療機関での分娩となった。

これまでは、緊急事態に備えるため島根大学の応援を得ながら、産婦人科、麻酔科、小児科医や助産師などのスタッフが24時間365日待機の態勢を維持してきたが、人員配置が困難になった。背景には、産婦人科・麻酔科・小児科医を志望する学生の減少がある。

②周産期ケアは、こども家庭センターで妊娠期から子育て期まで伴走型の相談支援を行っている。母子健康手帳交付時に利用できる制度を案内し、電話や訪問など個々の妊婦に応じた支援を行い、妊娠届け時に5万円、出産時の胎児に5万円、出産費用に原則50万円を給付している。



▶AIによる母子のイメージ画像

鳥獣害と干ばつから大田市農業をどう守るか

答弁　鳥獣害対策と干ばつ対応を関係機関と連携し推進

全編動画はコチラ

胡摩田（ごまだ）弘孝（ひろたか）　議員



質問　近年、サル、イノシシをはじめとする鳥獣被害が市街地でも拡大している。あわせて、本年の夏は大変な猛暑と水不足による干ばつ被害が懸念をされる。以下、2点を伺う。

①市内で拡大するニホンザル被害の現状と課題をどう捉え、地域だけに負担を集中させず、今後どのような鳥獣害対策を進めるのか。

②猛暑と少雨により農業用水が不足し、水稲などに被害が出ている。各地の被害状況をどう把握し、干ばつ対策をどのように進めるのか。

答弁　①ニホンザルは市内で生息域と被害が拡大しており、県と連携してGPS発信機による行動把握と群れの捕獲を進める。狩猟免許取得支援や監視カメラの導入、農業者と連携した捕獲など、地域でも対策に取り組める体制づくりを進める。

②干ばつでは、久手25ヘクタール、久利・大屋6ヘクタールなど各地で水稲被害を確認している。ため池、ダム、水路などの水源や農業用水の状況を土地改良区や農業者と共有し、国・県に早急な対応を求める。



▲サルに踏まれて倒れた水稲（久利町）

世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年記念事業の取り組みは

答弁 国内外に情報発信し、地域経済の活性化につなげる

全編動画はコチラ

清水（しみず） 好（このむ） 議員



質問 石見銀山は、大田市の歴史、文化、先人の築いた地域の財産であり、世界遺産として国内外に認められた市を代表する資産である。令和9年は節目の年であり、市の魅力を発信するとともに観光、文化、地域づくりにつなげる大きなチャンスである。以下、3点を伺う。

①令和9年の位置づけ

②市民及び全国、世界への発信の内容

③記念式典をはじめ関連する取り組み

答弁 ①令和9年は、節目の年であり、石見銀山が紡いできた歴史や文化を振り返り、人類共通の財産としての価値を市民と共有する重要な機会と位置づけている。情報発信、交流の促進、魅力ある地域づくりなどで、地域経済の活性化につなげていく。

②記念事業は、「過去からつなぐ」、「未来へつなぐ」、「地域へつなぐ」、「世界へつなぐ」の4つの視点を基に発信し、市民には大田市への誇りや愛着を深め、全国や世界へは大田市の魅力を広く知る機会にしていく。

③記念事業実行委員会を設置し、SNSを活用しての情報発信、「まるわかりガイド」の作成、誘客・広報推進、商品開発への補助など事業者や団体へ支援を強めている。記念式典は、令和9年7月2日に開催を予定している。



▶記念事業ロゴデザイン

移住・定住促進に向けた取り組みは

答弁 若者移住支援とSNSを活用し、魅力を発信する

全編動画はコチラ

柿田（かきだ） 賢次（けんじ） 議員



質問 毎年500人以上の人口減少が続く大田市の現状に対し、移住定住の促進には他自治体と差別化した独自施策が重要と考える。以下4点を伺う。

①移住定住者の人数と年代構成

②移住定住者への助成制度

③大田市独自の特色ある施策

④市外・県外への情報発信の取り組み

答弁 ①令和7年度のU・Iターン者はUターン72名、Iターン42名。年代別では20代、30代の若年層が全体の約44％を占め、特に20代が最も多い。

②東京圏からの移住者への定住支援金や、U・Iターン者が空き家を改修する際の費用を補助する制度などがある。市役所内にワンストップ相談窓口「おおだ定住支援センター」を設置し、相談窓口のワンストップ化を図っている。

③県外在住者を対象に、地域の「人」と交流し、その魅力をSNSで発信してもらう「遊ぶ広報プログラム」を実施している。外からの視点と内の温かさをつなぎ、ふるさとの魅力を磨き上げながら、地域と多様に関わる関係人口や定住者の確保に取り組む。

④移住定住に関心を持つ方向けのウェブサイト「どがどが」の運営やガイドブックの発行を行っている。東京や大阪で開催される移住フェアに参加し、移住者と共に市の魅力や支援制度を直接PRしている。



▲定住支援ガイドブック「やっぱりおおだ」

公共施設適正化計画の推進は

答弁 公共施設の30%削減を推進中

全編動画はコチラ

楫（かじ） 龍夫（たつお） 議員



質問 大田市は20年後には人口が2万2千人を切ると予想され、税収、地方交付税の減少が見込まれる一方、扶助費は増加傾向にあり、中長期的には財政運営の不安定化が懸念される。持続可能な自治体を保つためには、公共施設適正化計画の推進が不可欠と考えるが、進捗状況と市民の理解促進の状況を伺う。

答弁 大田市が定めた公共施設総合管理計画では、平成28年からの30年間で公共施設の総延べ床面積を30%削減する目標を定め、続いてより具体的な基本方針を示した公共施設適正化計画を策定して取り組みをすすめてきた。令和7年度末時点の削減率は9.39%である。

取り組みにあたっては、第三者の視点から意見反映させるため、専門家や民間団体の職員などの構成による適正化推進委員会の設置や、利用団体等との丁寧な対話に心がけ、説明や意見交換を行っている。



▶大田まちづくりセンター

楫議員その他の質問項目
- 大田市キャッシュレス・ポイント還元事業
- 「通いの場」の課題と今後の展望

常任・特別委員会報告

付託案件の主な審査内容
◎委員長　○副委員長

民生委員会



委員長
◎胡摩田弘孝

○柿田　賢次　　石田　洋治
森山　幸太　　宮脇　康郎
中村　　学

民生委員会で審議された一般会計・特別会計補正予算案、条例案件4件、一般案件1件は、**すべて原案通り可決**されました。

主な審議内容
- マイナンバーカードを使った医療費助成のシステム改修
- 妊婦への交通費支援
- 保育所の再編
- ごみ収集や葬祭場改修の予算増額

中山間地域への配慮などを求める意見が出されました。

総務教育委員会



委員長
◎伊藤康浩

○小林　　太　　松村　信之
小川　和也　　和田章一郎
髙木　裕介

総務教育委員会で審議された一般会計補正予算、条例案件4件は、**すべて全会一致で原案通り可決**されました。

主な審議内容
- 石見版ご当地ナンバー導入に向けたアンケート
- 熊本地震への職員派遣の経費
- 消防団の消防輸送車の車輪止め整備
- 学校電話のクラウド化など教育DXの推進

コスト意識や職員への配慮を求める意見が出されました。

大田市総合計画審査検討特別委員会



委員長
◎石田洋治

○根宜　和之　　塩谷　裕志
小林　　太　　松村　信之
和田章一郎　　宮脇　康郎
清水　　好　　柿田　賢次
中村　　学　　髙木　裕介
河村　隆弘

「第3次大田市総合計画基本構想」の議案が**全会一致で原案通り可決**されました。

審議での主な意見

審議では、人口減少を前提とした計画の見直し、医療・交通など市民の不安への対応、観光産業の明確化などが主な意見として挙がりました。

計画と財政見通しの連動や、市民への周知徹底と参加促進を求める意見が出されました。

産業建設委員会



委員長
◎根宜和之

○塩谷　裕志　　福田佳代子
清水　　好　　楫　　龍夫
河村　隆弘

産業建設委員会で審議された一般会計補正予算、条例案件5件、一般案件1件は、**すべて原案通り可決**されました。

主な審議内容

・キャッシュレスポイント還元事業
・将棋タイトル戦招致事業
・都市公園条例の一部改正（使用料の改定）
・やきものの里条例改正
・高山キャンプ場廃止条例

分かりやすい周知に努めることや、データ収集を求める意見が出されました。

大田市地域活性化検討特別委員会



委員長
◎松村信之

○柿田　賢次　　塩谷　裕志
和田章一郎　　宮脇　康郎
清水　　好　　伊藤　康浩
中村　　学　　河村　隆弘

「地域活性化」を「人口減少を前提として、住民が安心して暮らし続けられる環境をつくり、住民の笑顔を増やすこと」と定義しました。最重要課題の1つは高齢者などの「地域交通」の確保です。市街地は循環バス、中山間部はAIオンデマンド交通など、地域特性に応じて交通手段を組み合わせる考え方が示されました。交通を福祉や経済の基盤と捉え、持続可能なシステムの実現に向け議論を進めます。

議会改革検討特別委員会



委員長
◎小林　太

○髙木　裕介　　石田　洋治
福田佳代子　　胡摩田弘孝
森山　幸太　　根宜　和之
楫　　龍夫

時代に即したより良い議会を目指し、委員会では過去の取り組みを整理しました。新たに議員の政策提案力を高めるための生成AI活用や、コンプライアンスについて研修会を実施することとしました。今後は「議会活動の課題」「議員の資質向上」「議員の環境整備」を柱に議論を深め、他市議会との意見交換会も予定しています。市民に開かれた議会へ、改革を進めてまいります。

写真で見る議会日誌

研修会に参加しました

7/28 島根県市議会議長会議員研修会（出雲市）



8/25 島根県市町村議会広報研修会（松江市）



邇摩高等学校生徒の皆さんと大田市保育研究会の皆さんと意見交換します

令和8年度「おでかけトーク」

今年度は、邇摩高等学校の生徒の皆さんと、大田市保育研究会の皆さんと、それぞれに「おでかけトーク」を開催いたします。

なお、会場の都合により、傍聴はお断りいたしますので、何卒ご理解いただきますようお願いします。次号にて開催報告いたします。

問い合わせ
大田市議会事務局
☎0854-83-8137



議会を傍聴してみませんか

次の定例会の予定は**12月**です。

◇市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問の傍聴がおススメです。地域や、職場のグループでの勉強会、授業の一環での見学もお待ちしています。お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

傍聴席の定員は64席です。団体での傍聴は事前にご連絡をお願いします。

受付は議会事務局にて、氏名等のご記入をお願いします。

お問い合わせ先:大田市議会事務局
(TEL:0854−83−8137)

今月の表紙写真

邇摩高等学校写真部のみなさんに写真をご提供いただきました



地域の魅力や日常の一瞬を切り取った高校生ならではの感性あふれる作品を掲載しています。ご協力いただいた写真部のみなさんに心より感謝申し上げます。

若い世代とのつながりを大切にしながら、より親しみやすく伝わる議会だよりづくりに取り組んでいます。ぜひ、写真にもご注目ください。

編集後記

大田市が世界に誇る「石見銀山遺跡とその文化的景観」は、2027年に世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年という、歴史的にも大変意義深い節目を迎えます。2027年は、大田市にとってまさに歴史に残る大きな年となります。来年は、この貴重な機会を市民一人ひとりが共有し、石見銀山の歴史や文化を改めて見つめ直すことで、大田市に住むことへの誇りと愛着をさらに深める一年にしたいものです。

（清水　好）

広報広聴委員
委員長　石田　洋治
副委員長　宮脇　康郎
委員　和田章一郎
委員　清水　好
委員　中村　学
委員　髙木　裕介
委員　河村　隆弘

坂根印刷納

編集・発行　大田市議会
〒694-0064　島根県大田市大田町大田口1111　TEL：0854-83-8137　FAX：0854-82-9927
https://www.city.oda.lg.jp/　E-mail:o-gikaijimu@city.oda.lg.jp